

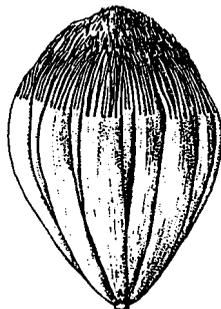
図1.浮葉が多く展開している時期のフトヒルムシロの生産構造図。15×15cmのエクマン・バージ式採泥器による5回の採集の平均値で示してある。

ることがわかった。また、沈水葉もシュートの上部と下部のもので色や形態、光合成速度に違いのあることがわかった。図1に示されているように、浮葉と沈水葉の位置が、いわゆる広葉型とイネ科型の位置に対応しているのも興味深い事実である。今後も調査・分析を続け、この植物の生活史とヒルムシロ属における進化上の位置を明らかにしたいと考えている。

引用文献

Kadono, Y. (1984). Comparative ecology of Japanese *Potamogeton*: An extensive survey with special reference to growth form and life cycle. Jpn. J. Ecol. 34: 161-172.  
 角野康郎 (1988). ヒルムシロ属の適応放散II. 日本の生物 2 (11): 21-25.

ムジナモの殖芽



新潟県 坪谷 富男氏画

加茂市, 狭口 (栽植)  
 1989. 2. 12.